

継続的な
被災地支援活動

岩手県大船渡市立末崎中学校の 「わかめの養殖・販売授業」で ファミリーマートが 「接客方法」を教えました！



32人の生徒の皆さんへ授業を行いました。

今年で7回目となるファミリーマートによる接客授業

岩手県大船渡市の末崎中学校では、養殖わかめの発祥の地とされる地元の特性を活かし、総合的な学習の時間で「わかめの養殖・販売授業」に取り組んでおり、わかめの生産から販売までのすべての工程を生徒のみなさんで行っています。

2011年の東日本大震災の影響で授業で使用していた養殖施設や育てたわかめをすべて流されましたが、なんとか2012年より取り組みを再開しました。

ファミリーマートは東日本大震災を乗り越え取り組みを継続する末崎中学校の皆さんの力になればと、取り組み再開時から被災地支援の一環として、わかめ販売の際に役立つ接客の方法やわかめを売るためのコツを教える授業を継続して行っています。

7回目となる今年是最寄り店舗の「ファミリーマート大船渡地ノ森店」新沼店長とスタッフリーダー 角掛さん、ファミリーマート奥州営業所とCSR推進Gから総勢9名が参加しOJTの授業を行いました。

まずは売り場づくり学びます。POPづくりにも挑戦！

ファミリーマートについて皆さんに知っていただくため、コンビニのビジネスモデルやファミリーマートについての説明のあと接客の基本とPOPづくりを学びました。

POPづくりではスタッフリーダーの角掛さんが見本を作成して披露してくれました。生徒の皆さんも角掛さんが作ったPOPを参考に自分たちでPOPづくりに挑戦です。

授業の様子

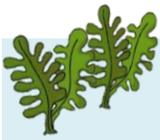
接客・販売の基本について説明

ファミリーマートが地域で果たす役割を説明

POPづくりの相談中
皆さん真剣です！

見本で作ってきたPOPを披露！
角掛さんよりPOPづくりのコツも学びました

皆さんが作ったPOPを発表！
ごだわりポイントも説明しました



接客のポイントは笑顔！ みんなで笑顔を作り、声掛けに挑戦しました。

続いて挨拶や声掛け、袋詰めなどの接客の実践練習を行いました。みんなで笑顔の作り方を学び、身だしなみを整えた後、「いらっしゃいませ、こんにちは！」「私たちが育てたおいしいふれあいわかめはいかがでしょうか？」と声出し、声掛けを練習しました。練習では新沼店長と角掛さんが声掛けの見本として元気な声掛けを披露してくれました。生徒の皆さんも初めは恥ずかしがっていましたが、何回も練習するにつれ、元気な声掛けができるようになりました。

その後、袋詰めや実際の接客をデモンストレーションも行い、販売実習に向けての準備は万端です。「販売ではお客さまに気持ちを伝えることが大切です！実習頑張ってください！」と生徒の皆さんへエールを送り、授業は終了しました。



大船渡市立末崎中学校
多田喜夫校長先生

お店の方から社員の方まで、たくさんの方に来ていただき、とても感謝しています。
学校で接している人以外の方と接することで、生徒たちの将来に役立つコミュニケーションについて学ぶことができたと感じました。
この授業は製造から販売まで学ぶことができる、他の学校では体験することができない学習の機会です。
ファミリーマートの皆さんのおかげで学校の机で勉強するだけでは学ぶことができない、人間性が磨かれる授業になりました。
販売実習も頑張ります！

少しでもわかめの販売実習の助けになればと今回も参加させていただきました。
今日学んだことを活かして、自分たちが愛情をこめて育てたわかめを元気いっぱい販売していただきたいです。

ファミリーマート奥州営業所長 佐藤

今回は地域の店舗として中学生の皆さんに接客について教える機会に参加できてよかったです。
楽しく授業に参加させていただき、POPづくりでは私たちも生徒の皆さんのアイデアを学ばせてもらいました。

ファミリーマート大船渡地ノ森店 新沼店長、角掛さん



ファミリーマート大船渡地ノ森店と
奥州営業所からの参加者

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。